

実施による工夫と得られる効果の検証（3 月度例会）

■実施による工夫

- ①3 月度例会へ参加してもらうにあたって、例会内容の詳細を説明するために委員会周りを実施いたします。
- ②各テーブルにファシリテーターが一人参加します。
- ③青年会議所メンバーには参加される先輩方が四日市青年会議所に入会した年度、卒業した年度を資料にてお渡ししておきます。
- ④グループワーク①では先輩方と意見交換をしていただく場所とし、テーブル移動した際にはこれまでどのような意見交換をしてきたのかファシリテーターから伝えます。
- ⑤ファシリテーターが書記を行い、例会終了後にメンバー全体に共有いたします。

■得られた効果

- ①例会の主旨・目的をお伝えして興味を持っていただき、例会ではどのようなことを学ぶことができるのか理解してもらうことができていた。しかし、日程調整の都合で全ての委員会に委員会回りを行うことができなかったため、審議前から各委員会日を確認しておき、日程調整をしておく必要があった。
- ②グループワークでファシリテーターがスムーズな流れを作ることができていた。
- ③どの年度にはどのような運動を行ってきたのか事前に知っていた方がいて例会中やサロン時に詳細をお聞かせいただく導入とすることができていた。
- ④同じ質問をすることがなく、自身が考えもしなかった意見を聞くことができていた。
- ⑤例会実施後に LINE でグループワーク①メモを配信したことによって、グループワークの内容を全会員が等しく学びを得ることができていた。